



9月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
 ・豊かに感じる子ども
 ・考え工夫する子ども

R3. 9. 6 文京区立本駒込幼稚園



2学期の始まり

園長 藤田 智子

いよいよ今日から2学期が始まりました。夏休みが明けて、前日までは静かだった園内が一気に明るくにぎやかになりました。

新型コロナウイルス感染症に関わる様々な状況により2学期の開始時期が遅れましたが、急な対応にご協力いただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございます。子どもの感染者数の増加については、相変わらず心配な状況が続いています。幼稚園では引き続き感染症対策を十分に行い、子どもたちの安全と成長を第一に考え、状況に合わせた工夫をしながら教育活動に力を注いでいきます。2学期の行事や活動につきましては、今後の感染症等の状況を踏まえてその都度対応をし、皆様にお知らせいたします。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。ご家庭でも、毎日の登園前にお子さん及びご家族の方々の健康観察を行っていただき、集団生活における感染症対策に十分にご配慮いただけますよう、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年も感染症対策により行動が制限される夏休みとなりましたが、それぞれのご家庭ではどのように過ごされましたでしょうか。夏休み中には、これまでとは異なる状況の中で開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会もありました。テレビで観戦し、スポーツにさらなる興味を広げた子どももいることと思います。幼稚園では、子どもたちの夏休み中の経験を遊びに取り入れていくことができるよう、各担当が掲示や製作材料などの工夫をし、遊びの環境を整えて新学期を迎える準備を進めてきました。子どもたちがどのような遊びを展開していくのか、とても楽しみです。

私たち教員にとっては、夏季休業期間は、交代で休暇をとることができる時期であると同時に、集中して研修を受けることができる期間でもあります。感染症予防対策のため、人数制限があったり、研修によってはオンラインになったり書面開催になったりしたものもありましたが、それぞれの教員がスキルアップのための様々な研修を受けました。教員が受けた研修の一部を紹介します。

三浦主任教諭…身体の使い方の課題を分析する力、課題の要因や背景を「見立てる」力を高め、指導の改善や充実を図ることをねらいとした研修を受けました。「身体の動きがぎこちない」「姿勢が崩れやすい」など身体の使い方に課題が見られる幼児・児童にどのような手立てや環境の工夫を行っていくことが必要なのかを知り、手先の動きを整える活動や遊び、道具の工夫などについて学びました。学びを生かし、活動や遊び、環境の工夫などを引き続き行っていきたいと思っています。

仲野教諭…アレルギー疾患対応研修を受講しました。アレルギーに関連する様々な疾患について学び、参加した教員同士で緊急対応時のエピペンの打ち方を実践したり、実際の教育現場での様々な事例を基に緊急時における教職員の動き方について話し合ったりしました。今後園内で行う予定の薬剤師によるアレルギー疾患対応研修で、さらなる理解を深め、学んだことを園の教職員と共有しながら日々の教育実践に生かすとともに、緊急時の備えとしていきます。

川島教諭…幼児の実態に即した支援を考えることをテーマとした研修を受講しました。幼児の様々な事例をもとに、それぞれの幼児に育むべき力について考え、必要な教師の援助や教材の活用について学びました。文字や記号、イラスト等の視覚的な教材の活用など、様々な手立てにより、より効果的に支援していく方法を考える機会となりました。研修で学んだことを生かして、幅広い視点から、それぞれの幼児の実態に即した支援方法や手立てを探っていききたいと思います。

大崎教諭…子どもたちの身体表現をテーマに、人の身体表現の歴史や、発達、具体的な活動例などについて講義を受けました。心と体が密接に結びついている幼児期に、感じたことを体で表現する活動を取り入れることで、幼児が安心してありのままを表せるようになっていくことを学びました。子どもたちが興味をもちやすい身近な物からイメージを取り入れ、子どもたちと一緒にいろいろな物になりきって、様々な身体表現活動を行っていききたいと思います。

それぞれの教員の学びを今後の教育活動に生かし、実り多い2学期となるよう、教職員みんなで力を合わせて取り組んでまいります。2学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

